

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	公園改修事業	会計	一般会計	事業No.	585	施策順No.	45-020
		事業種別	政策・重点	予算科目	8-4-5-12-8		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	土木課		
施策	45 居住基盤の向上			事業期間	開始	18	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市民公園						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできてない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	市民数:人	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
		具体的な数値で表すと(対象指標)							
		公園数(県風越・飯田運動公園を除く):個所		106630	105691	105036	107000		
意図	誰でも安全に利用出来る公園とする								
対象をどう変えるか	意図	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		改修実施箇所数(単年度) (実績数)22/(目標数)18=122.2%	11	18	17	18	22	18	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	国の補正事業(繰越)により整備公園が増え、部分改修ではなく公園全体を改修することができた。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	住民の憩いの場所である公園を、誰もが安全で快適に利用出来る施設とするため整備をする		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	都市公園等の改修事業 (1)都市公園の改修・整備 (2)児童遊園等の改修 (3)老朽化した遊具の撤去 (4)城東2号公園スロープ工事 (5)高羽1号公園階段・水飲み・ベンチ・砂場改修工事	(1)改修工事 (2)改修工事 (3)撤去工事 (4)改修箇所数 (5)改修箇所数	(1)1式 (2)1式 (3)1式 (4)1カ所 (5)1カ所
23年度実施計画	都市公園等の改修事業 (1)都市公園の改修・整備 (2)児童遊園等の改修 (3)老朽化した遊具の撤去	(1)改修工事 (2)改修工事 (3)撤去工事	(1)1式 (2)1式 (3)1式

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	17,300	17,293		特定財源内訳、補足事項	(国)地域活性化・きめ細かな臨時交付金(10/10) 21→22繰越明許費17,300千円 22→23繰越明許費1,721千円
	一般財源	県支出金					
		起債					
		その他					
		一般財源	11,250	9,529	15,500		
		計(A)	28,550	26,822	15,500		
		正規職員所要時間		1,800			
		臨時職員等所要時間					
		人件費計(B)		6,437			
		トータルコスト A+B		33,259			

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> 市民より公園施設の改修要望が多くある。 老朽遊具の撤去については、新設要望が強い。
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民、市内滞在者、事業者の生活・事業に必要な基盤が整う。	施策の成果指標又はムトス指標	居住基盤の満足度
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	公園の改修を適切に行うことで、住居基盤の向上に貢献している。		
	後期に向けた課題	今後も改修が適正に実施できるよう取り組む必要がある。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	改修計画から優先度を考慮して事業を進めた。		
	後期に向けた課題	改修計画を重視し、優先度を考慮して事業を進めていく。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	既存遊具の機能を十分果たし、かつ価格面を注意して発注した。		
	後期に向けた課題	公園遊具改修計画を重視する。既存遊具の機能を十分果たし、価格面を注意しながら事業を進める。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	市が管理する公園であり、不特定多数の利用のため受益者負担は求めない。		
	後期に向けた課題	市が管理する公園であるため今後とも市が管理する。不特定多数の利用のため受益者負担は求めない。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	市が管理者であるため主体的な役割を担っているが、地元との協議により公園改修を実施している。		
	後期に向けた課題	今後とも管理者である市が、地元との協議により公園改修を実施していく。		
全体を通じて	4年間の振り返り	今までは遊具の部分改修を行ってきた。しかし、平成20年度に遊具の安全基準が見直されたことにより遊具全体を改修・修繕していくこととなった。		
	後期に向けた課題	遊具の安全基準が見直され、未改修の公園を整備していかなければならない。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	--	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------